

令和5年度事業報告の内容報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度の京都の雇用情勢は、新型コロナウイルス感染拡大の影響も弱まり、求人が求職を上回っている状況ですが、府内の令和5年度平均の有効求人倍率は1.21と前年から0.01ポイント低下し、全国平均1.29倍より低くなっている状況です。

令和5年の京都府内の労働災害は、死亡者数は17人と前年に比べ7人増加しており、休業4日以上之死傷者数も、新型コロナウイルス感染関連の労働災害を除くと前年比183人、7.4%の増加となっており、「第14次労働災害防止推進計画（2023～2027年）の目標達成に鑑み厳しい状況にあります。

また、労働者の健康をめぐる状況については、京都府内事業場の定期健康診断の結果における有所見者割合は61.15%（対前年比0.80ポイント増加）と全国平均値58.94%を上回る高水準であり、脳・心臓疾患につながる血中脂質、血圧等にかかる有所見率も高水準で推移しています。

令和5年度も新型コロナウイルス感染は収束しませんでした。令和5年5月からは同疾患が5類扱いとなり、京都労働基準協会（以下「協会」）の諸事業は、ほぼ制約を受けることなく、京都労働局、各労働基準監督署及び会員事業場のご理解、ご支援をいただき、関係団体と連携・協調し、創意工夫しながら事業を行ってまいりました。

1 労働行政への協力と労働基準協会各支部との連携

京都労働局、各労働基準監督署における労働行政の円滑な推進と、行政目標の実現に向け、積極的に協力するとともに、会報、協会・支部ホームページ等を活用し、労働行政の諸課題、関係法令の周知・広報等に努めました。

特に本部の会報である京都労基に関しては、京都労働局への独自原稿の寄稿要請、事務局による実技講習レポート、監督官日記連載、サラリーマン川柳等、会員の皆様に興味を持っていただける内容となるよう、心がけております。

また、本部、各支部が一体となって労働行政の推進を支援するとともに、講習事業等についての調整、応援体制の確保等を行うなど協会として業務推進体制の一体化を図りました。

2 会員事業場等へのサービスの向上と財政基盤の確立

令和5年度はコロナの影響もほぼなくなり、各種講習が計画どおり実施できたことはもとより、安全衛生大会を始めとした催しも滞りなく開催でき、総会では4年ぶりに「記念講演」や「懇親会」の開催も実現するなど、コロナ禍以前の活動に戻ることができました。

また、法改正に応じた需要の多い技能講習等の実施、新規講習の立ち上げなど会員事業場のニーズを踏まえた事業運営に努めました。

会員数については、年度当初、本部が社労士事務所等、士業を中心に新規会員を集め、また舞鶴支部、園部支部による積極的な勧誘活動もあって、上半期においては久々の増加が実現しました。しかし、その後は、事業廃止・他府県への移転、組織統合等による退会事業場が相次ぎ、最終的には10件の減少となりました。

令和5年度末現在の会員合計は2,499社（前年比32社増 42社減 差し引き10社減）となっています。

【会員数の推移】

	本 部	京都上	京都下	京都南	福知山	舞 鶴	丹 後	園 部	全 体
4 年度末	109	264	244	399	454	336	425	278	2,509
5 年度末	114	255	238	394	452	343	420	283	2,499
増 減	+5	▲9	▲6	▲5	▲2	+7	▲5	+5	▲10

3 本部・支部の協力

各種技能講習及び特別教育、セミナー事業等については、本部、支部が協力して開催する等の体制を確立しています。

支部事務局長会議は令和 5 年 8 月、12 月、令和 6 年 3 月に Web 会議併用で開催し、各支部の事業実施状況の確認、本部からの連絡による意思統一等を図りました。12 月の事務局長会議は久々のリアル会議となり、本部、ほぼ全ての各支部事務局長が 4 年ぶりに一堂に会する場となりました。

4 安全衛生意識の高揚、自主的安全衛生管理活動の推進と快適職場の実現

(1) 京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会の運営

「京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会」（代表幹事：協会）において、各労働災害防止団体とともに京都府内における安全衛生活動の推進等についての協議・検討を行いました。

令和 5 年度の協議会も会場と Web の併用で実施し、第 39 回を迎えた「京都ゼロ災 3 か月運動」の実施の方針を確認するとともに、主催者として運営に当たりました。また、同協議会の教習部会において各団体等が実施する教習等についての調整を実施し、1 万部余りの講習計画パンフレットを作成するなど、京都全体の講習計画の広報に努めました。

京都安全衛生大会については、令和 4 年度に引き続き、ロームシアター京都（サウスホール）での開催となりました。

本大会は、コロナによる影響からも脱して約 600 人の参加者を得てリアルでの開催となりました。また、昨年度同様、大会の様様を録画し、You Tube でオンデマンド配信を行いました。

（8 月号の会報で案内）

(2) 安全・衛生表彰の実施 （公益目的事業 2）

令和 4 年度同様、令和 5 年度も従来どおり安全衛生大会にて安全・衛生表彰の授与を行いました。京都労働局長等行政表彰、協会長表彰受賞者名簿は【別紙 1】のとおりです。

(3) 第 39 回「京都ゼロ災 3 か月運動」の実施（7 月 1 日～9 月 30 日） （公益目的事業 2）

例年とおりに「トップの安全衛生に関する宣言」と「危険ゼロ」の取組による「災害ゼロ」の達成と「健康確保」を目標に取り組みました。

令和 5 年度の参加事業場数は 2,210 事業場（令和 5 年度 2,324 事業場 前年度との差-114）、達成事業場数は 2,119 事業場（達成率：95.9% 令和 4 年度比 0.1 ポイント増）となりました。

無災害達成事業場には、主唱者である京都労働局長から達成証が交付されました。

所属団体ごとの達成事業場数は【別表 1】のとおりです。

(4) 第 82 回全国産業安全衛生大会（名古屋大会）への協力 （公益目的事業 2）

9 月 27 日から 29 日の期間で第 82 回全国産業安全衛生大会が、「皆でつなごう 安全と健康を守る日本の現場力」をスローガンとして、愛知県において開催されました。

今回の大会は現地開催の他に、オンデマンドの WEB 配信も行われ、協会会員の積極的な参加をお願い

しました。京都府内からの参加者数（参加券購入数）は85名でした。

(5) 安全衛生等行事への協力と用品等の斡旋（収益事業）

毎年の取組として全国安全週間、全国労働衛生週間や各種運動期間等における事業場での取組を支援するため、中災防のポスター、のぼり等の用品、「安全の指標」・「労働衛生のしおり」をはじめとする各種の参考図書等の斡旋を行い、事業場が実施する週間等への取組に協力しました。

（各種週間等）

- ストップ！転倒災害プロジェクト 転倒防止強調月間 6月
- 全国安全週間 7月1日～7日（準備月間は6月）
スローガン 「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」
- 全国労働衛生週間 10月1日～7日（準備月間は9月）
スローガン 「目指そうよ二刀流 こころとからだの健康職場」
- 年末年始無災害運動 12月15日～1月15日
スローガン 「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」
- 安全衛生教育促進運動 12月1日～4月30日
スローガン 「正しい知識で 職場を安全・健康に！」

5 心とからだの健康確保対策の推進

(1) 「京都産業保健セミナー」の開催（公益目的事業2）

京都労働局、京都府医師会及び京都産業保健総合支援センター等と連携し、「全国労働衛生週間」中の行事として職場における心とからだの健康確保対策の推進を主眼とする「京都産業保健セミナー」を10月6日に池坊学園こころホールにおいて開催し、産業医、衛生管理者等122名にご参加者いただきました。

セミナーでは京都労働局担当官による「化学物質の新たな規制の概要等」の講演と、京都産業保健総合支援センター産業保健相談員の古海勝彦氏による「産業医による職場巡視のポイント」と題した特別講演を行いました。

京都安全衛生大会と同様、セミナーの様子は録画し、You Tubeで配信し、セミナーに参加できなかった方が視聴できるようにしました。（会報にて案内）

(2) 京都衛生管理者会総会等について（公益目的事業2）

京都産業保健セミナーの開催に併せて、同日、京都衛生管理者会総会を開催し、株式会社大林組の松本和也氏による「建設現場における労働衛生対策」と題した講演を行っていただき、衛生管理活動の充実に資することとしました。コロナ禍により中断していた「交流会」も4年ぶりに実施することができました。

協会が事務局として運営する「京都衛生管理者会」は、平成15年6月に発足して以来、毎年新規入会者が有り、現在では登録会員数が800名を超えています。

6 技能講習・特別教育（公益目的事業1）

事業場における安全衛生管理体制の確立、無資格者就労の根絶及び作業者等の安全衛生面の能力向上等を図るため、年間計画に基づき技能講習や特別教育等を実施しました。

令和5年度は計画していたものは全て開催したほか、会員のニーズに併せて多くの追加講習を実施しました。コロナの影響からは脱していますが、今なお、コロナ禍時代と同様の定員設定（3人掛テーブルに2名の配置）としており、受講者にはゆったりとした会場環境を提供しております。

需要が一段落して令和4年度より受講者が減少した「建築物石綿含有建材調査者講習」に代わって、令和

5年度から開始した「化学物質管理者講習」「保護具着用管理責任者講習」「石綿作業主任者技能講習」の受講が好調で、全体の受講者増加に寄与しています。

令和5年度における技能講習・特別教育等の実施状況は【別表2】のとおりで、協会全体として、合計178回実施し、9,017名の受講者を得ました。令和4年度に比べ、回数で24回、受講者では1,472人の大幅な増加であり、これまでの最高実績であった平成27年度（167回、7,789人）をも大きく上回っています。

なお、本部においては、ほぼ2年がかりの準備・協議を経たシステム改修が完了し、令和5年12月講習からはWEBによる講習申込みが実現しました。

今後は、各支部において、どのようにWEB申込みを広げていくかが課題となっております、

7 巡回健康診断事業の実施（公益目的事業3）

支部事業として、令和5年度においても福知山支部、舞鶴支部、丹後支部、園部支部の4支部で実施しました。昨年度に引き続き、計画どおりの開催となり、受診者数は全体としては248名減少（対前年度減少率1.2%）し、定期健診19,271名、特殊健診1,694名、労災2次健診266名、合計21,231名となりました。

【各支部受診者数】 (人)

	福知山支部	舞鶴支部	丹後支部	園部支部	合計
定期健診	7,031	4,811	5,650	1,779	19,271
特殊健診	1,194	344	156	0	1,694
労災2次健診	92	72	102	0	266
合計	8,317	5,227	5,908	1,779	21,231

注：特殊健診は、じん肺、有機溶剤、特定化学物質、鉛

8 労働基準関係等の各種教育・セミナーの実施（公益目的事業1）

協会は全国労働基準関係団体連合会京都府支部として、他の団体との協力により労働条件の確保改善・労働災害の防止等に関する各種教育・セミナーを実施しておりますが、令和5年度に実施した事業は次のとおりです。

(1) 全国労働基準関係団体連合会京都府支部事業

外国人技能実習制度関係者養成講習

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づく外国人技能実習制度関係者養成講習について、技能実習責任者講習、技能実習指導員講習、生活指導員講習を令和5年9月に実施しました。

(受講者数 技能実習責任者講習13名、技能実習指導員講習4名、生活指導員講習4名)

(2) 労働調査会共催事業（公益目的事業1）

建設雇用改善法に基づく雇用管理研修

「建設労働者の雇用の改善等に関する法律」に基づき建設事務所に選任・配置が義務付けられている「雇用管理責任者」に関する研修を4回開催（共催）し、参加者は計61名でした。

9 委託事業の実施（公益目的事業2）

中小規模事業場における多様な安全衛生課題の解決に向けた取り組みに資するため、相談会の開催、安全衛生に関する専門的知識やノウハウを有する相談員による助言、情報提供等を通じて中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与することを目的として中央労働災害防止協会から委託を受けた「中小規模事業場安全衛生相談事業（都道府県版）」（厚生労働省補助事業）を受託し、本部・支部において本事業による安全衛生相談を受け付けました。受付対応件数は197件（昨年度は144件）でした。

主要会議・行事等の開催

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
5.4.18	京都安全衛生大会第1回実行委員会 1 実行委員会役員等の選出 2 令和5年度安全衛生大会結果について 3 令和6年度京都安全衛生大会の内容及び次第(案)について	京都経済センター
5.5.9	協会 監事による会計監査実施	協会事務所
5.5.23	協会 第1回理事会 (Web 会議併用) 1 議案審議 第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算報告承認の件 第2号議案 理事選任の件 第3号議案 定款変更について 第4号議案 理事会社との契約等承認について 第5号議案 重要な使用人候補について 第6号議案 新規会員入会承認の件 第7号議案 令和5年度通常総会招集の件 2 報告 (1)職務執行状況報告 (2)京都府立入検査について	京都経済センター
5.6.15	協会 通常総会 1 議案審議 報告事項 (1)令和4年度事業報告の内容報告の件 (2)令和5年度事業計画及び収支予算の内容報告の件 決議事項 第1号議案 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの計算書類(財産目録を含む)の承認の件 第2号議案 理事5名選任の件 第3号議案 定款変更の件 2 新入会員紹介	ホテルグランヴィア 京都
5.6.15	協会 第2回理事会 1 議案審議 第1号議案 役付理事選定の件	ホテルグランヴィア 京都
5.6.19	京都産業保健連絡協議会 1 京都産業保健セミナーについて 2 衛生管理者会総会について	京都労働局
5.6.20	第1回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会 第2回京都安全衛生大会実行委員会(合同会議) 1 協議報告事項 (1) 大会タイムテーブルについて	京都経済センター

	<p>(2) 大会当日の役割分担について</p> <p>(3) 大会当日配布資料等について</p> <p>(4) 安全衛生表彰について</p> <p>2 その他</p>	
5.7.7	<p>令和5年度京都安全衛生大会</p> <p>1 主催者代表挨拶 (公社) 京都労働基準協会 会長 坂本隆司 氏</p> <p>2 主唱者あいさつ 京都労働局長 赤松俊彦 氏</p> <p>3 祝辞 (一社) 京都府医師会長 松井道宣 氏</p> <p>4 安全衛生表彰式</p> <p>5 事例発表 「安全衛生へのとりくみ」 JMU ディフェンスシステムズ株式会社 環境安全衛生室長 岸下 直樹 氏</p> <p>6 基調講演 「化学物質の労働災害防止のための新たな規制について」 京都労働局 労働基準部長 岸 泰広 氏</p> <p>7 特別講演 「生涯現役時代のおもしろ健康科学」 京都大学名誉教授 森谷 敏夫 氏</p> <p>8 閉会挨拶 (公社) 建設荷役車両安全技術協会京都支部 副支部長 徳永 明敬 氏</p>	ロームシアター京都
5.7.31	<p>京都衛生管理者会幹事会</p> <p>1 京都産業保健セミナーについて</p> <p>2 京都衛生管理者会総会について</p>	京都経済センター
5.8.28	<p>第1回支部事務局長会議</p> <p>1 各支部の第1四半期の業務実施状況、今後の予定等</p> <p>2 本部からの連絡事項</p> <p>3 支部運営上の問題点について</p>	京都経済センター
5.9.19	<p>第2回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会 (Web 会議併用)</p> <p>1 労働災害発生状況と今後の対策について</p> <p>2 「京都ゼロ災3か月運動」参加状況等について</p> <p>3 令和5年度京都安全衛生大会について (総括)</p>	京都経済センター
5.10.4	<p>京都産業保健セミナー</p> <p>1 主催者挨拶 (一社) 京都府医師会 産業保健担当理事 森口次郎 氏</p> <p>2 来賓挨拶 京都労働局健康安全課長 高木芳夫 氏</p> <p>3 講演 「化学物質の新たな規制の概要等」 京都労働局健康安全課 主任地方労働衛生専門官 山田英輔 氏</p> <p>4 特別講演 「産業医による職場巡視のポイント」 京都産業保健総合支援センター 産業保健相談員 古海勝彦 氏</p>	池坊学園こころ ホール

	5 閉会挨拶 京都衛生管理者会代表幹事 高田志郎 氏	
5.10.4	<p style="text-align: center;">京都衛生管理者会総会</p> <p>1 講演 「建設現場における労働衛生対策」 株式会社 大林組 京都 KIH 計画工事事務所 所長 松本和也 氏</p> <p>2 事務局報告 京都衛生管理者会事務局</p>	池坊学園こころ ホール
5.10.31	<p style="text-align: center;">協会 3 部会合同会議 (Web 会議併用)</p> <p>1 令和 5 年度上半期主要事業等の実施状況及び収支状況 (令和 5 年 9 月末)</p> <p>2 令和 5 年度下半期主要事業の実施計画</p> <p>3 その他 令和 6 年度総会までの予定</p>	京都経済センター
5.12.20	<p style="text-align: center;">第 3 回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会及び教習部会 (Web 会議併用)</p> <p>連絡協議会</p> <p>1 令和 5 年労働災害発生状況</p> <p>2 「京都ゼロ災 3 か月運動」の結果について</p> <p>3 令和 6 年度京都安全衛生大会について</p> <p>教習部会</p> <p>1 令和 6 年度教習計画について</p> <p>2 教習の広報について</p>	京都経済センター
5.12.20	<p style="text-align: center;">第 2 回支部事務局長会議</p> <p>1 各支部の業務実施状況、上半期経理状況</p> <p>2 本部からの連絡事項</p> <p>3 支部運営上の問題点について</p>	京都経済センター
6.1.12	<p style="text-align: center;">新年安全祈願祭・新年互例会</p> <p>1 安全祈願祭 (本殿)</p> <p>2 新年互例会 (参集殿)</p>	下鴨神社
6.3.6	<p style="text-align: center;">協会 第 3 回理事会 (Web 会議併用)</p> <p>1 議案審議</p> <p>第 1 号議案 令和 6 年度事業計画 (案) 及び正味財産増減予算 (案) 審議の件</p> <p>第 2 号議案 流動資産の運営準備積立資金への振替の件</p> <p>第 3 号議案 本部職員の処遇改善について</p> <p>第 4 号議案 職員に対する年度末特別一時金支給について</p> <p>第 5 号議案 京都労働基準協会設立 10 周年記念式典開催について</p> <p>第 6 号議案 新規会員入会承認の件</p> <p>2 報告</p> <p>(1)職務執行状況報告について</p> <p>(2)令和 5 年度の本部経理状況について (令和 6 年 1 月末現在)</p> <p>(3)役員損害賠償責任保険の加入について</p>	京都経済センター

6.3.19	<p>第4回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会（Web会議併用）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年の労働災害発生状況について 2 令和6年度安全衛生行政の重点課題等について 3 令和5年度会計報告について 4 令和6年度の事業計画について <ol style="list-style-type: none"> (1) 京都ゼロ災3ヶ月運動（第40回）の展開について (2) 令和6年度京都安全衛生大会について 	京都経済センター
6.3.19	<p>第3回支部事務局長会議（Web会議併用）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各支部の第3四半期までの業務実施状況、経理状況、令和6年度事務局体制・役員体制・行事予定等報告 2 本部からの連絡事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 内部監査結果 (2) WEB受付運用状況 (3) 金属アーク溶接等作業主任者限定技能講習の新規登録 	京都経済センター

公益社団法人全国労働基準関係団体連合会（全基連）関係

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
5. 5. 25	<p>会議・行事等の内容 令和5年度通常総会</p> <p>1 議事 第1号議案 議事録署名人選任の件 第2号議案 令和4年度事業報告承認の件 第3号議案 令和4年度決算報告承認の件 第4号議案 役員選任の件</p> <p>2 報告 (1)令和5年度事業計画の件 (2)令和5年度収支予算の件</p>	TKP 東京駅カンファレンスセンター
5. 5. 25	<p>令和5年度第1回支部事務局長全国会議</p> <p>1 令和5年度受託事業の状況について 2 事務説明 (令和5年度技能実習生養成講習事業の留意点について等) 3 リスクアセスメントセミナーと全国産業安全衛生大会の取組みについて</p>	TKP 東京駅カンファレンスセンター
5. 5. 25	<p>令和5年度受託事業等全国会議</p> <p>1 受託事業紹介 (建設業の一人親方等安全衛生教育支援事業 等) 2 ブロック別の協議（オンライン化の現状と今後の取り組み方） 3 特別講演 フリーランスの昨日・今日・明日</p>	TKP 東京駅カンファレンスセンター
6. 3. 25	<p>令和5年度第2回支部事務局長全国会議</p> <p>1 令和5年度事業の実施結果と令和6年度事業の運営について 2 各委託事業の令和5年度実施結果と令和6年度応札状況について 3 令和6年度委託事業の進め方について 4 技能実習事業の令和5年度実施結果と令和6年度の進め方等について 5 その他の自主事業の運営について年度概要について</p>	Web 会議

中央労働災害防止協会（中災防）関係

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
5. 5. 24	<p>会議・行事等の内容 令和5年度通常総会</p> <p>議事 第1号議案 令和4年度事業報告の承認を求める件 第2号議案 令和4年度決算の承認を求める件 第3号議案 令和5年度事業計画案審議の件 第4号議案 令和5年度収支予算案の審議の件</p>	経団連会館
5. 9. 27～29	第82回全国産業安全衛生大会名古屋大会	ポートメッセなごや
5. 12. 13	<p>令和5年度近畿ブロック労働基準協会中災防業務連絡会議</p> <p>1 中災防の令和5年度事業推進状況及び令和6年度事業計画について 2 各労働基準協会（連合会）の令和5年度事業推進状況及び令和6年度事業計画について</p>	Web 会議

【別紙1】

京都労働局長表彰

(敬称略、五十音順)

【奨励賞】 [地域の中で、安全衛生（安全確保対策、健康確保対策、健康の保持増進対策、快適な職場環境の形成）に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場又は企業に対する表彰]

<安全確保対策>

株式会社桑原組 大津本店（仮称）新西京都病院新築工事
株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ 久御山事業所
日之出化学工業株式会社

<健康確保（健康保持増進等）対策>

日東精工株式会社 本社工場

公益社団法人京都労働基準協会会長表彰

(敬称略、五十音順)

【事業場表彰】 [安全衛生活動を活発に実施し、その進歩が著しく他の模範となる事業場に対する表彰]

株式会社アカツキ製作所
岡部株式会社 京都工場
亀岡スプリング株式会社
タキイ種苗株式会社
増鍊工業株式会社
株式会社三星化学研究所
ヤマキ建鉄株式会社

【個人表彰】 [安全衛生活動を活発に実施し、当該地域及び事業場における安全衛生水準の向上・発展に著しく貢献した者に対する表彰]

川又 甫 (元ジャパンマリンユナイテッド株式会社)
田中 孝幸 (株式会社日進 FULFIL)
月見 悟 (株式会社橋電)
松井 庸祐 (大京化学株式会社)
山本 康史 (三菱製紙株式会社)